

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

## 「おらほの学校応援し隊」活動紹介① 大きくなあれ！ ぼくらのシイタケ！

～鷹巣東小学校『シイタケ・ナメコの植菌作業』～

鷹巣東小学校（寺田博明校長、児童 88 人）のシイタケ・ナメコの植菌作業が4月25日、同校で行われ、子どもたちが作業を体験しました。

この植菌作業は、同校の森林環境学習の一環として、地域のボランティア「おらほの学校応援し隊」の5人の協力のもと行われました。

隊員が約100本のナラのほだ木に電動ドリルで手際良く穴を開け、子どもたちは隊員に植菌方法を教えてもらいながら、一つ一つ丁寧に木づちで「種ごま」を打ち込んでいきました。

今回植菌したほだ木は、来年の収穫時まで子どもたちが管理をしながら大切に育てていきます。



▲植菌作業を体験する子どもたち

## 伊勢堂岱遺跡の環境整備へ

～国指定史跡・伊勢堂岱遺跡～

5月3日～31日まで伊勢堂岱遺跡の一般公開が行われました。今年度は6月から環状列石の修復など遺跡内の環境整備が始まるため、5月のみの一般公開でした。大型連休には県内外から多くの見学者が訪れ、伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ（佐藤善寿代表）が縄文時代のロマンについてわかりやすく説明しました。

一般公開に合わせて、北秋田市文化会館の展示資料室（9時～17時／入場無料／水曜日休館）をリニューアルしました。伊勢堂岱遺跡をはじめ、

藤株遺跡や向様田遺跡など市内の出土品 300 点以上を公開していますので、是非ご覧ください。



▲雨の中行われた今年度の一般公開初日

## 仲間との絆を深め、ともに学ぼう

～高齢者大学入学・開講式～

4月26日の合川ことぶき大学を皮切りに、高鷹大学、阿仁生き生き大学、森吉大学と、今年度の各地区高齢者大学が開講しました。

このうち、高鷹大学（佐藤善寿学長）の入学・開講式が5月16日、文化会館で開かれ、新入生22人を迎え 221人の学生が学習活動をスタートさせました。

開講式終了後、第1回講座として秋田大学北秋田分校の濱田純校長が「子どもは未来を見て育つ」と題して講演しました。

各高齢者大学では、講座や移動研修、クラブ活動などが計画されており、多くの学生が学びます。



▲221人が学習活動をスタートさせた高鷹大学

## 市内を花でいっぱい！

花いっぱい運動推進協議会

### ■花の苗販売のお知らせ

今年も花の苗の販売を行ないます。個人で、地域や団体で、みなさんで市内を花いっぱいにしてください。販売場所

さかえフラワーセンター（北秋田市栄地内／ザ・ビッグたかのす店の道路をはさんだ北側）

種類と価格  
▽マリゴールド

（黄／オレンジ）……30円  
▽サルビア（赤）………40円

事前申込み期間

6月4日（月）～6月10日（日）

※各公民館に申込用紙を置いていただけますのでご利用ください

販売日時

▽事前申込みした方

6月16日（土）～6月17日（日）

午前5時30分～午前9時

▽申込みしないで購入する方

6月17日（日）

午前9時～正午

※苗を入れるダンボールや箱等は各自でご用意ください

※予定数量に達した時点で販売を終了させていただきます

◎ さかえフラワーセンター内（成田和子） ☎・FAX 62-1386

## 学校支援ボランティア

『おらほの学校応援し隊』募集

～あなたの力を子どもたちのために～

市民の皆さんが持っている知識や経験、特技などを子どもたちのために役立ててみませんか。また、学習活動をサポートする支援ボランティアも随時募集しています。

### 【活動例】

- ◇ 学校農園や花壇作業の支援作業
- ◇ ミシンや裁縫の補助
- ◇ 昔の遊び体験
- ◇ 読み聞かせボランティア
- ◇ 地域の歴史文化の説明・他多数
- ◇ 申込先 市教育委員会生涯学習課
- ◇ 募集要項は、中央公民館ほか各公民館に準備しています

◎ 生涯学習課生涯学習班

☎ 62-1130

## 新公民館長が就任しました

よろしくお願いします

森吉公民館の非常勤館長が新たに任命されました。

森吉公民館長 櫻庭 博志 氏  
任期 平成24年5月1日～平成26年3月31日

公民館へのご要望などがありまして、お気軽にお寄せください。

◎ 森吉公民館 ☎ 72-3259

## ふるさとの文化財

### 北秋田市指定文化財（史跡）

51

#### ○「佐竹公御手植の松」

- ◇ 所在地 阿仁荒瀬字向岱9-2
- ◇ 管理者 北秋田市

国道105号線から阿仁スキー場に向かいまもなく左側に標柱があり、民家の後ろにひっそりたたずんでいる松です。

元禄15年（1702年）阿仁鉦山が秋田藩の直営となり、文化6年（1809年）第9代藩主佐竹義和公が鉦山を視察した時の記念に植えられた松とされています。荒瀬では藩主のため小沢に休憩所を設け、闘牛をご覧いただいたそうです。3本の五葉松が植えられました。現在は1本だけが残っています。

その後、天保2年（1831年）10代藩主義厚公が、文久元年（1861年）には12代藩主義堯公が鉦山を視察しています。

◇「視察」のことを「巡見」といい、江戸時代幕府が諸国に派遣して、地方政治の良否を視察させた役人を「巡見使」と呼びました。寛永（1624年）以後に



▲佐竹公御手植の松（阿仁荒瀬）

は將軍が代わるごとに地方に派遣したようです。鎌倉幕府では、職名として「巡検使」があり、諸国を巡り庶民の苦楽を察し、作物の豊凶を取り調べたようです。

◇「荒瀬村」は、享保15年（1730年）の『六郡郡邑記』によると戸数50軒、枝郷として萱草24軒、笑内22軒、根子30軒、比立内31軒など総戸数400軒余の大村でした。集落の北は阿仁銀山とほぼ連続する山村地帯で、主に銀山で働いて生活していました。冬から春は熊を取り、栗や稗を食べ、酒は粟、蕎麦で作って飲んだといわれています。（『秋田風土記』）

▽平成4年3月31日指定文化財  
▽資料／『阿仁町史』『北鹿は宝箱』『阿仁の文化財その1』『秋田県の地名』ほか

▽紹介者／北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二